植物生理学研究室 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、〇は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本植物形態学会第34回大会
演題名	LMD法を用いた植物ホルモン・遺伝子発現の時空間的解析
発表者	〇 <u>朝比奈雅志1</u> ,2,山田一貴※1,中野渡幸※1, <u>湯本絵美</u> 2,佐藤忍3 (1帝京大・理工・バイオ,2帝京大・先端機器分析セ,3筑波大・生命環境)
内容	本発表では、シロイヌナズナ切断花茎の組織別植物ホルモン分析法について検討した。LMD法によるサンプリングと液体クロマトグラフィー質量分析計による定量分析を行うことで、限られた部位や組織における植物ホルモンの時空間的変化を、包括的かつ定量的に解析する方法について報告した。本研究の一部は、私立大学戦略的研究基盤支援事業、科学研究費補助金、私学事業団経常費補助金特別補助(大学間連携等による共同研究)、先端総研チーム研究助成金による支援を受けて行った。https://doi.org/10.1007/s10265-021-01360-x
関連画像	本研究で使用したレーザーマイクロダイセクションシステム